

はじめに

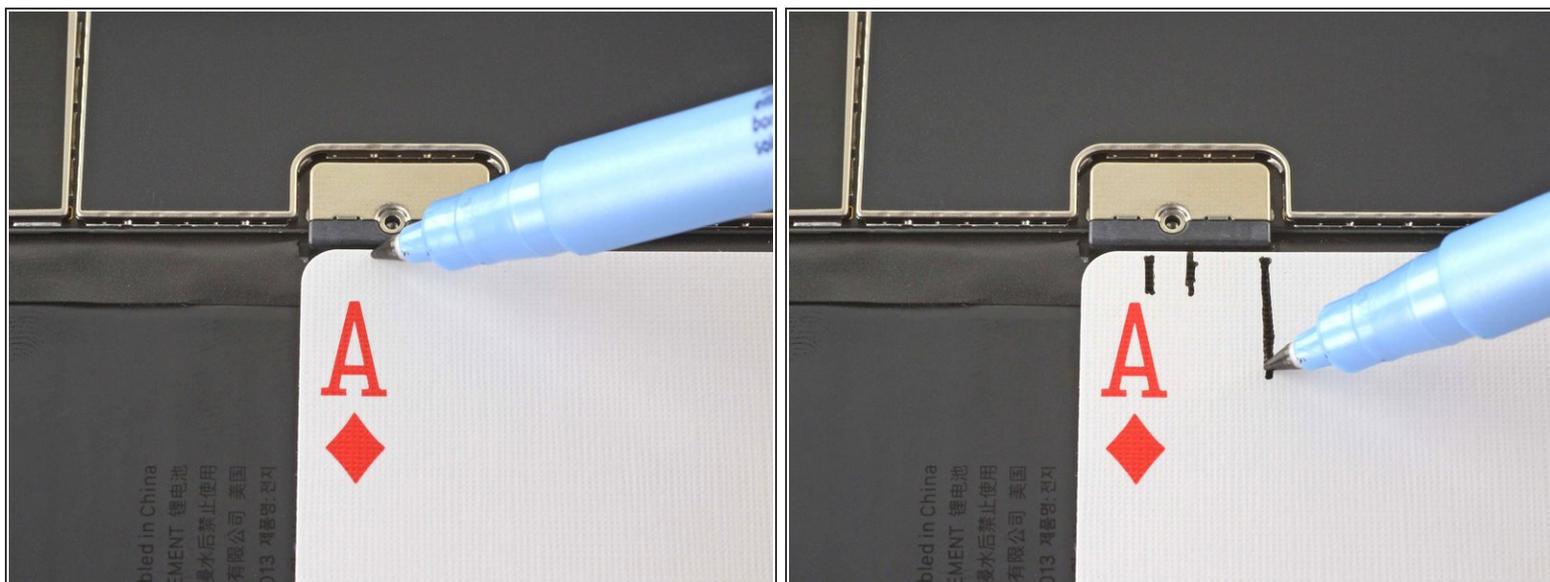
トランプを使って、iPadのバッテリーの接続を外す方法を紹介します。

iPadのロジックボード上のバッテリーコネクタの下にバッテリーブロッカーを上手く差し込めない場合は、トランプを使ってバッテリーの接続を外すことができます。この方法では、トランプをサイズに合わせてカットする必要があります。

ツール:

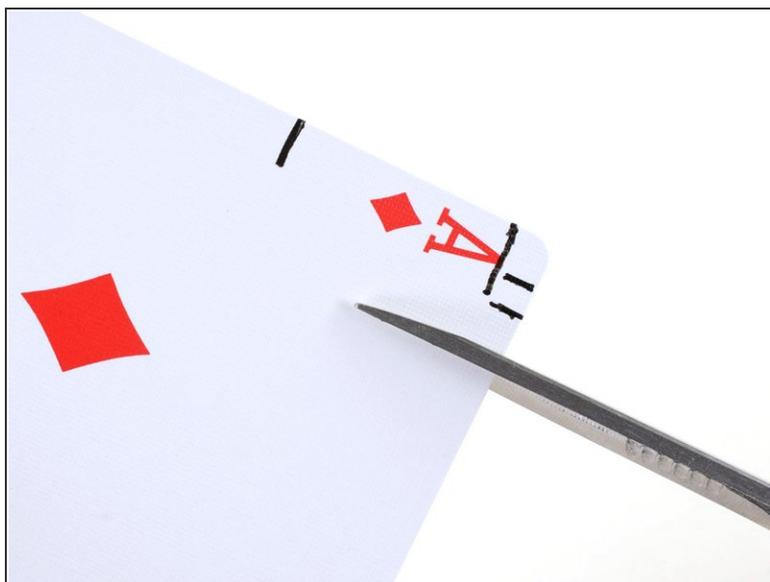
- [万能ハサミ](#) (1)
- [Marker](#) (1)
- [Deck of Cards](#) (1)

手順 1 — ネジのスロットの幅に印を入れます



- トランプの左端をバッテリーコネクタの左端と位置を揃えます。
- ペンを使って、図のようにネジ穴の両側とバッテリーコネクターの端に印を入れます。

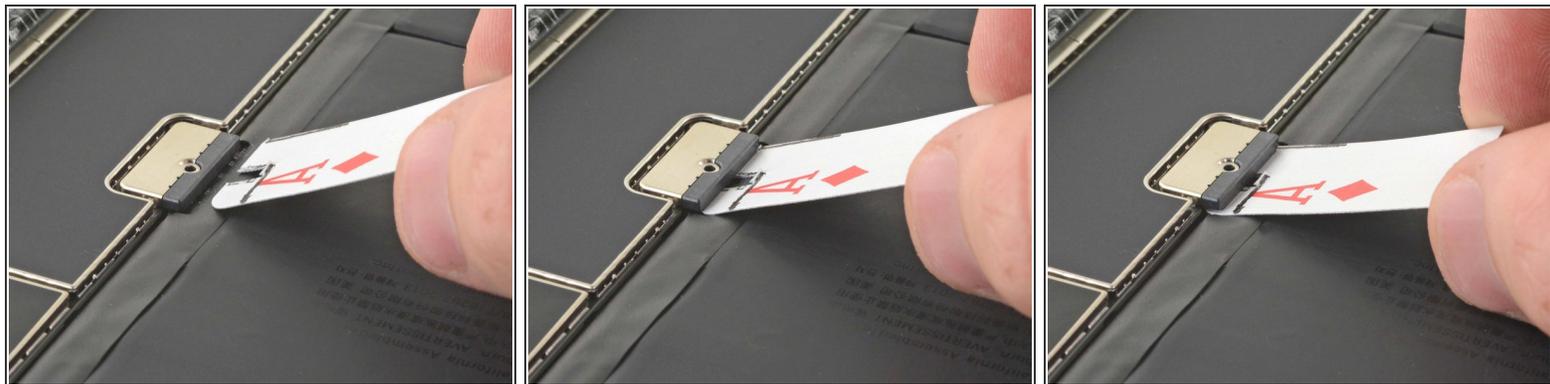
手順 3 — サイズに合わせてカードをカットします



① バッテリーブロッカーの長さは重要ではありませんが、約2センチ、つまり親指の先端から第一関節までの長さで十分です。

- ハサミでトランプを図のように切り取り、バッテリーブロッカーを作ります。

手順 4 — バッテリーの接続を外します



⚠ バッテリーブロッカーを使ってバッテリーを分離するときは、ゆっくりと慎重に作業を行ってください。バッテリーコンタクトは簡単に曲がったり壊れたりして、永続的なダメージにつながる可能性があります。

- バッテリーブロッカーを35度の角度で挿入し、バッテリーの接続を外します。
 - ① 一番ベストなやり方として、トランプがロジックボードの下に何の障害もなく滑り込んでいることです。そして差し込んだ後、15度の角度で固定させてください。
- バッテリーブロッカーはそのままの状態にして作業を続けます。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。